

歴史 語らい座 浦賀奉行所編 その十九

郷土史家 山本 詔一



●桂小五郎―三郎助に弟子入り―●

安政二年（一八五五年）六月末、西郷隆盛・大久保利通とともに『維新の三傑』と称される長州藩士・桂小五郎（後の木戸孝允）が、藩医で兵学者の東条英庵に伴われて、浦賀奉行所与力・中島三郎助の役宅を訪ね、造船術習得のために弟子入りを志願した。

◇ ◇ ◇

桂小五郎は、一九歳になった嘉永五年（一八五二年）に、長州藩から江戸の三代道場の一つ「練兵館」へ剣術留学をしている。入門一年にして塾頭にまで上り詰めた剣の達人であった。ちなみに、「練兵館」を主宰する齋藤弥九郎は、葦山の代官・江川英龍に西洋式の兵法を習うなど、剣術だけでなく、兵法全般に開明的な考えの持ち主であった。

嘉永六年六月、長州藩士として大森海岸で警備にあたっていた桂は、ペリー来航に衝撃を受け、時代が剣から大筒や軍艦の時代へ変化していることを実感し、すぐさま齋藤を通じて江川の弟子となつていく。弟子となつた桂は、幕府が江川に命じた品川沖の台場建設の候補地の下見などにも同行している。

同年一二月、彦根藩に代わり長州藩に江戸湾警備の命令が下り、上宮田陣屋（現・三浦市）に一二〇人の長州藩士が警備についた。桂小五郎もこの中の一人であった。

以前から師匠にあたる吉田松陰から「造船や海軍のことを学ぶなら浦賀の中島のもとで」と勧められていた桂は、このチャンスを生かし、すぐさま中島を訪ねて弟子入りを願ひ出ようと考えていた。ところが、松陰が再来航したペリー艦隊に密航を企てた罪で捕まると、桂にも嫌疑がかけられた。取り調べを受け、桂が関わりがないことが判明するまで、二〇日あまりの間拘束された。さらに、両親を早くに亡くしていた桂の後見人が急死して故郷である萩へ戻つたりしたため、中島宅への訪問が遅くなつてしまつた。桂の申し出に、はじめのうちは固辞していた中島であったが、あまりの熱心さに折れて、「ともに学ぶ」ということを条件に弟子入りを許可した。すると桂は、中島の役宅に寄宿したいと申し出た。

そこで、広くない役宅の納屋に床を張り、出来た二畳半のスペースを桂の居住空間として与えることとした。こうして始まつた中島家での寄宿生活は、中島がいる時はもちろん、不在時にも食事には給仕がつくといい待遇であつた。このことに不満を持つた従僕の万蔵が「なぜ居候にこんなにていねいな扱いをするのか」と尋ねると、中島は「この居候はただの人ではない。やがて余も彼の屋敷で給仕をするような時がくるであらう」と答えたという。

中島が桂の将来性をどこまで感じていたのかは不明であるが、十代の終わりに江戸へ出てきてから、中島



の家に厄介になるまでの三年余の行いを知るだけでも、その行動力に一目置いていたことはわかる。

この中島家での話は、太平洋戦争前、浦賀町によって町史編さんの準備段階でつくられた「浦賀志稿本」の中で、奉行所出入りの大工棟梁であつた川島平蔵が万蔵から聞いた話として収められている。

桂が中島家にいたのは、中島に長崎海軍伝習所への出張研修が命ぜられて長崎へ旅立つことになるまでのわずか一月足らずの間であつた。しかし、その間に鳳凰丸が竣工し、その経験から今後の課題などさまざまな意見が交わされるなど、濃密な時間であつたことは、その翌年、安政三年（一八五六年）に長州藩に造船所が開設され、丙辰丸という軍船が出来ていることから想像に難くない。

また、明治維新後に主を失つた中島家に対して、官幕の垣根を越えて援助の手を差し伸べていたことから、桂にとつて中島三郎助は偉大な師であつたことをうかがわせる。

俳句の散歩道

涅槃西風鉄錆にほふドック跡
鈴木 ひろ

草青む晶子寛の歌碑の丘
大塚遊球子

笑話一題

檸檬（れもん）。私はレモンの香りと酸味が好きです。料理に使うと見た目も味もワンランクアップします。そんなレモンを育てたいと思ひ、昨年6月に50cm位の鉢植えを購入しました。花がたくさん咲いていて、これが実つたら、レモンケーキに蜂蜜レモン、塩レモン……. 沢山楽しめると、ほくそ笑んでいました。ところが、数日で花はパラパラと散り始め、小さな緑色の実がわずかに二つだけになりました。さらに、アゲハ蝶の幼虫まで現れました。すぐに退治し、肥料や水切れにも注意し大切に育てました。そして10月、グリーンレモンになり、12月下旬、やつと美しい黄色の実を収穫。半分は切ると断面から果汁がジュワーっと染み出てきたのは感激しました。皮ごとくし形に切り、下味をつけた鶏肉とアボカド、ニンニクなどと一緒に調理しました。アボカドの緑色とレモンの黄色が綺麗でお洒落な一品が完成。レモンティーも頂きました。味も香りも最高！

3〜4月はレモンの植え付け時期になります。そうだ！地植えにしよう！

いつか青空の下、黄色い鈴なりのレモンを収穫して、友達に配つたり、レモンケーキに蜂蜜レモン、etc.

私はまた、ほくそ笑んでいます。へ)

すーちゃん



浦賀コミセン分館歴史講座

浦賀道をゆく

浦賀道について学び、県立大学～浦賀奉行所まで3回に分けて歩きます。

〈日 時〉5/10.17.24.31日（毎火曜）
13:00～15:30
〈場 所〉浦賀コミセン分館他
〈定 員〉抽選25名（健脚向き）
〈講 師〉仲野正美氏
〈参加費〉150円（傷害保険代）
〈締 切〉4月24日（日）必着

※ 詳細は、ちらしをご覧ください。

